

平成30年度 第3回広島県教科用図書選定審議会 議事録

1 開催日時 平成30年8月3日（金）13：00～17：00

2 開催場所 県庁東館8階 801会議室

3 出席者 15名

4 欠席者 5名

5 内 容

事務局	<p>（本会議の進行及び資料について説明）</p> <p>この選定審議会の傍聴及び議事録の公開については、第1回選定審議会の際に、第3回は非公開とし議事録のみ公開することを確認済みである。</p> <p>本日は、会長及び副会長がともに災害に係る急な公務のため欠席である。広島県教科用図書選定審議会規則第2条第5項に則り、会長から指名された委員に、会長の職務の代理をお願いしたい。</p>
会長職務代理	<p>まず、資料1「県立広島中学校で使用する教科用図書（「特別の教科 道徳」）の選定状況」について、事務局から説明をお願いする。</p>
事務局 （義務教育指導課担当者）	<p>教科書の選定においては、平成27年度に県教育委員会が作成した「平成28年度使用中学校用教科用図書 選定資料」の五つの観点に加え、学校の教育方針等に基づき、六つ目の観点として「学校の特色を生かす工夫」を設定している。</p> <p>各観点には、調査を行うための視点を設定しているが、観点6については、「広島中学校の校訓」に基づき、三つの視点を設定している。</p> <p>一つ目は、「科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫」、二つ目は、「豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫」、三つ目は、「高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫」である。</p> <p>三次中学校、広島叡智学園中学校においても同様に、五つの観点に加え、学校の教育方針等に基づき、六つ目の観点「学校の特色を生かす工夫」を設定している。</p> <p>なお、観点1から観点5の視点については、県教育委員会が作成した選定資料を参考にして視点を設定しており、県立中学校三校が同様の視点となっている。</p> <p>三校とも、それぞれ校内に選定会議を設置し、全ての発行者の教科用図書について、県教育委員会が作成した選定資料の視点及び各中学校独自の視点により調査研究を行い、総合的に判断した上で、教科書の選定を行っている。</p> <p>これから、選定理由及び評価表を基に、種目ごとに説明する。</p>
事務局 （豊かな心育成課担当者）	<p>「特別の教科 道徳」では、「光村」を選定している。</p> <p>観点1、観点2、観点6の視点のうち、「光村」を例に、特徴的なものを取り上げて説明する。</p> <p>まず、観点1「基礎・基本の定着」の視点③「発問の工夫」では、道徳的価値の理解を深め、さらに話合いの質を上げるための鍵になる発問が、教科書の中でどのような形で示されているか等、発問の示し方について調査した。</p>

	<p>例えば、教材の後ろに、教材に関する発問「中学生のとした行動に対して、おじいさんから『理解を超えた言葉』が返ってきたのは、どうしてだろう」とともに、「学びのテーマ」とし、「思いやりの心をもって他者と接するとは、どういうことだろう」と、本時のねらいとするテーマを掲げ、課題意識をもたせる工夫が見られる。このような工夫により、基礎的・基本的な内容の習得とともに、見通しをもって学習に取り組むことができる。</p> <p>次に、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」の視点④「問題解決的な学習を取り入れた工夫」の視点では、問題意識をもち、友達の考え方や感じ方を基に、解決に向けて話し合うことができる問題解決的な学習をどのように扱い、問題意識をどのようにもたせているのか等、問題解決的な学習を取り入れた具体例とその展開について調査した。例えば、教材の終わりにページが設けられ、「いじめが起こったとき、自分はどうか考え、どう行動していくことができるだろう」という学びのテーマのもと、「考える観点」では、教材を通して考える発問、「見方を変えて」では、多様な考えに気付かせる発問、そして「つなげよう」では、他の教材や教科等での学びとつなげて考えることができる発問が示されている。このように、問題解決的な学習を取り入れるとともに、具体的な学びのプロセスを示すことで、生徒が主体的に学習に取り組むことができる工夫が見られる。</p> <p>また、視点⑥「自己の生き方につなげる工夫」では、本時の学習を実生活や他教科等に生かすことができる教材等の具体例について調査したところ、実生活や他教科等に生かすことができる教材とともに、巻末のページに「他教科・領域との関わり」とし、他教科等との関連が一覧表で示されている。</p> <p>最後に、観点6「学校の特色を生かす工夫」の視点⑬「科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫」では、情報リテラシーを高めるとともに、情報モラル及び現代的な課題に関する教材の具体例について調査した。その結果、各学年において複数の教材等が掲載されており、3年間を通して、科学技術の発展と生命倫理との関係など、現代社会を生きる上での課題を自分との関係において考え、その解決に向けて取り組もうとする意欲や態度の育成につなげることができる。</p> <p>次に視点⑭「豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫」では、我が国の伝統と文化や、グローバル化した国際社会における、異なる文化等の理解に資する教材の具体例について調査した。その結果、日本の伝統・文化や国際理解・国際貢献に関わる教材が掲載されているとともに、さらに深く考えさせる資料等が各学年に掲載されている。例えば、国際理解に関する資料では、教材「異文化の人々と共に生きる」の後ろに、「コラム 国際理解」として、教材を通して学んだことをもとに、異なる文化をもつ人々と共に生きていくための方法や心構えについて考えるコラムが掲載されている。これにより、我が国の文化とともに多文化を理解する態度の育成に効果があると考える。</p>
<p>会長職務代理</p>	<p>広島中学校で使用する「特別の教科 道徳」の教科用図書の選定状況についての御意見等は、この後、三次中学校で使用する教科用図書の選定状況について、事務局から説明を受けた後に、併せて伺いたい。</p> <p>それでは、資料2「県立三次中学校で使用する教科用図書の選定状況」について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>国語科では、「光村」を選定している。</p> <p>観点6、視点⑬「知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫」について、知性、探究心、創造性、逞しさを育むためには、本編のみならず、巻末資料においても、創造性を育む資料が掲載されていることが必要であると考える。なお、創造性を育むことにつながる教材とは、創作文や感想文など、感じたことや考えたことを書く活動が扱われている教材と判断し調査してい</p>

<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>る。1年生281ページでは、読書感想文の書き方が、模範例となる文章とともに示されており、生徒の自主的な創作活動を支援できるよう工夫されている。</p> <p>続いて視点⑮「伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫」を御覧いただきたい。伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるためには、人類の発展等に尽くした人物を取り上げた読み物教材等があることが好ましいと考える。</p> <p>1年生190ページには、「桜守三代^{さくらもり}」というノンフィクション作品が掲載されている。生徒に日本の伝統的な自然美を守ることに寄与した人物の生き方について触れさせることができる。</p> <p>書写は、「教出」を選定している。</p> <p>観点6，視点⑩「人間の多様性を尊重し，地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫」について，人間の多様性を尊重し，地球規模の視野で他者と協働する力を育てていくためには，他国の文字文化について掲載されていることが好ましいと考える。教出は，中国の文字文化と日本の文字文化とのつながりを実際の書等を掲載しながら系統的に示している。これらは，どの教科書にも掲載されており，大きな差はない。</p> <p>次に，観点3「内容の構成・配列・分量」の視点⑥「単元・教材や資料等の配列」を御覧いただきたい。毛筆を使用する書写の指導は，硬筆による書写の能力の基礎を養うように配慮することが求められており，毛筆教材と硬筆教材が関連付けて配置されていることが必要である。また，硬筆の書き方をより深く理解するためには，直接教科書に書き込ませ，模範例と比較することのできるページが多くあることが望ましいと考える。他者には，第3学年に硬筆記入欄が設けられていないが，「教出」には，硬筆の記入欄が全ての学年に掲載されており，硬筆による書写の能力を高めるための工夫が見られる。</p>
<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>地理では、「日文」を選定している。</p> <p>観点6，視点⑮「伝統を重んじるとともに，人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫」について説明する。伝統を重んじるとともに，人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるために，地域社会への参画を促す資料等があることが必要である。そこで，「身近な地域の調査」において，地域の課題を見だし，社会参画を促す資料について調査している。</p> <p>268ページ「身近な地域の調査」において，レポートを作成した後に，「私たちにできることを考えよう」という特設ページを設けている。調査によって気付いた地域の課題の解決に向けて，実際に地域の行事に参加し，自分たちの課題として地域の課題を捉え，解決に向けて自分たちが実践できることを考察させるようにしている。</p> <p>269ページには，これまでの地理の学びを生かし，国際社会が抱える問題に立ち向かうことを促す「地理を学んで」という特設ページも設けてあり，こういった工夫は，日文にしかない特徴である。</p>
<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>歴史では、「東書」を選定している。</p> <p>観点6，視点⑬「知性，探究心，創造性，逞しさを育むための工夫」について説明する。知性，探究心，創造性，逞しさを育むためには，学習内容を発展的に考察させる事例等があることが必要である。そこで，各単元末における学習内容を発展的に考察させる事例について調査している。</p> <p>「東書」の他，複数の発行者において，全ての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載され，探究的な活動を促す問いが示されている。</p> <p>「東書」の94ページには，室町時代の文化の中に現在に結びつくものがある。</p>

<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>ることに気付かせるため、「室町時代の生活文化と現代」として、衣食住についての事例が掲載されている。また、「トライのコーナー」に、「身近な生活の中に、室町時代から続いているものはないか、探しましょう」といった問いが示されており、知性、探究心、創造性等を育むことに有効であると考える。</p> <p>公民では、「東書」を選定している。</p> <p>観点6，視点⑬「知性，探究心，創造性，逞しさを育むための工夫」について説明する。知性，探究心，創造性，逞しさを育むためには，単元末における発展的な事例等があることが必要である。そこで，各単元末における学習内容を発展的に考察させる事例について調査している。</p> <p>「東書」の他，複数の発行者において，全ての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載され，探究的な活動を促す問いが示されている。</p> <p>「東書」の112ページには，「東日本震災からの復興と防災」として，仙台市の取組を取り上げている。また，「トライのコーナー」に，「防災や減災のために自分たちにできることはないか，グループで話し合しましょう」といった問いが示されており，知性，探究心，創造性等を育むことに有効であると考える。</p>
<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>地図では「帝国」を選定している。</p> <p>観点6，視点⑭「伝統を重んじるとともに，人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫」について説明する。伝統を重んじるとともに，人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるためには，自ら考察することを促す問い等が必要である。そこで，項目ごとに，資料を関連付けて考察する問いについて調査している。</p> <p>13ページには，環境問題に関する複数の資料が掲載されている。また，「やってみよう」において，「私たちは自然を守るために，どのようなことに協力できるか，現地の人々の立場に立って話し合ってみよう」と探究的な活動を促す問いが示されている。このような探究的な活動を促す問いを掲載する工夫は，探究心，創造性等を育むことにつながると考える。</p>
<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>数学科では，「学図」を選定している。</p> <p>観点6，視点⑮「人間の多様性を尊重し，地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫」では，数学的な表現を用いて説明し伝え合う問題例，記載数を調査した。複数の発行者において，数学的な表現を用いて説明し伝え合い，事柄の本質を明らかにすることを促すような記述が，各学年の一つはある。1年生82，83ページには，文字式を利用して，ストローの本数の求め方を考える問題が記載されており，83ページには，生徒が考え方を説明し伝え合う問題がある。</p> <p>また，視点⑯「伝統を重んじるとともに，人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫」を御覧いただきたい。この視点では，レポート作成の扱い，記載例を調査している。複数の発行者において，レポートの書き方についての記載がある。1年生260，261ページには，普段の生活の中で感じた疑問などを自ら解決し，レポートにまとめる具体例が記載されており，生徒のレポート例の周りに書き方の説明が分かりやすく記載されている。</p>
<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>理科は「東書」を選定している。</p> <p>観点6，視点⑰「人間の多様性を尊重し，地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫」では，生徒同士でお互いの意見を検討・改善させる場面が教科書に設定されていることが重要だと考える。全ての単元で，生徒同士でお互いの意見を検討・改善させる場面が設定されているが，複数設定されているのは「東書」と「学図」であった。「東書」の1年生37ページには，「調べる条件について考えよう」などのトピックに「話す」という吹</p>

<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>き出しをつけて、具体的な検討のモデルとともに、お互いの意見を検討したり、改善したりする場面を設定している。</p> <p>次に、視点⑩「伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫」では、目的意識をもって、学習した内容を活用して考えさせる場面設定が教科書になされていることが重要だと考える。全ての単元で、活用して考えさせる場面が設定されているが、複数設定されているのは「東書」のみであった。例えば、1年生25ページでは、「学びを活かして考えよう」というトピックにより、意図的に活用して考えさせる場面を設定している。</p> <p>音楽一般においては、「教芸」を選定している。</p> <p>観点6，視点⑪「知性，探究心，創造性，逞しさを育むための工夫」では，創作における音を音楽へと構成する過程の扱いについて調査している。「教芸」では，各学年の創作の題材において，イメージを膨らませながら，音を音楽へと構成する過程が具体的に記載されている。</p> <p>1年生の30，31ページには，イメージを基に構成を工夫して音楽をつくろうという題材が設定されている。①には，絵や文章で具体的なイメージを例示し，②には，ポイントを示して着目させる視点を示し，③では，音楽の構成を工夫してつくることができるよう，例が示されている。</p> <p>次に，視点⑬「伝統を重んじるとともに，人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫」では，「鑑賞における我が国の音楽文化の扱い」について調査している。どちらの発行者においても，各学年の我が国の音楽の鑑賞において，全ての題材で楽曲の特徴をその楽曲の文化的・歴史的背景と関わらせて感じ取らせるための記述や資料が掲載されている。2，3年上48，49ページには，日本の郷土芸能について，1府4県の郷土芸能が紹介されており，背景等について説明されている。その上で，音楽を鑑賞する際の視点も示されている。</p>
<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>器楽についても「教芸」を選定している。</p> <p>観点6，視点⑨「人間の多様性を尊重し，地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫」では，「多様な合奏曲の掲載」について調査している。「教芸」では，我が国の音楽，諸外国の音楽の合奏曲の掲載，和楽器，ギター，手拍子など多様な楽器等を使用した合奏曲を掲載している。</p> <p>72ページには，「テキーラ」というラテン音楽，74ページには，「Yesterday」というポピュラー音楽，76ページには，「クラッピングラブソディ第1番」という手拍子を入れた音楽，78ページには「打楽器のための小品」という打楽器アンサンブル曲，80ページには，「さくらさくら」の箏曲など，多くのジャンルの合奏曲が掲載されている。</p> <p>「教出」においても，同様に多様な合奏曲の掲載がある。</p>
<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>美術では，「光村」を選定している。</p> <p>観点6，視点⑫「人間の多様性を尊重し，地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫」では，日本と諸外国の文化に共通するよさや美しさ，違いに気付かせることで，美術を通して国際理解を深めようとする意欲を育成できると考え，調査している。どの発行者も日本と諸外国の美術文化の関係が年表と共に示されている。「光村」の1年生30，31ページのように，日本や諸外国の文様を比較して鑑賞することで，それぞれの文様のよさや美しさを味わうことができるようにしている。</p> <p>また，視点⑬「伝統を重んじるとともに，人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫」では，生徒が自分たちの手で日本の伝統的な作品及び美術文化について継承し新たな価値や文化を積極的に創造していこ</p>

<p>事務局 (豊かな心育成課担当者)</p>	<p>うとする意欲をもたせるためには、日本の伝統的な作品及び美術文化について理解するための作品や、具体例が教科書に示されていることが重要と考え、調査を行った。どの発行者も具体例が複数掲載されている。</p> <p>保健体育は、「学研」を選定している。</p> <p>観点6，視点⑩「知性，探究心，創造性，逞しさを育むための工夫」では，知識や技能を活用して創造的な思考力を促す学習を進め，多くの場面で実践力を育成する場面の設定について調査している。23ページには，実習として「自分の気持ちを上手に伝える（コミュニケーション）」を掲載している。生徒の実体験に近い場面で学習したことを実践する場を設けている。74ページには，実習として「心肺蘇生法」を掲載している。ここでは心肺蘇生法の技能として，カラーで示された写真やイラストを用いた基礎基本の確認のみならず，自己評価や感想を振り返るなど，生徒自らの学びを促す内容を数多く設定している。他の教科書にも同様の内容掲載はあるが，「学研」には，全ての単元の終わりに，事例などを用いた自習や実験，課題学習等が掲載されており，様々な場面で知識や技能を活用して創造的な思考力，実践力を育てる工夫が見られる。</p> <p>視点⑬「伝統を重んじるとともに，人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫」では，我が国の運動やスポーツに関する歴史や健康に関するデータの掲載について調査している。144ページには，我が国のスポーツの技術の変化について写真とともに掲載している。続いて，124ページには，ダイエットについてのデータ提示し，減量を調査する課題を掲載している。このように，我が国の運動やスポーツに関する歴史や健康に関するデータが示され，全ての単元の終わりに，生徒自らの学びにつながるような発展的な課題を示す工夫が見られる。</p>
<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>技術分野では，「開隆堂」を選定している。</p> <p>観点6，視点⑬「人間の多様性を尊重し，地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫」では，「『情報モラル』に関する内容の事例や資料の掲載」を調査している。198，199ページには，肖像権や人権・プライバシー，個人情報保護など，具体的な事例や参考資料が複数掲載され，情報に関する技術の利用場面に応じて適正に活動ができるような工夫が見られる。「東書」も同様に具体的な事例や参考資料が複数掲載されている。</p> <p>視点⑭「伝統を重んじるとともに，人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫」では，「学習の内容を深めさせたり広げたりしていくための資料の掲載や問いの記述」を調査している。244，245ページには，技術分野の学習のまとめとして，技術を評価する際，「社会的側面」，「経済的側面」，「環境的側面」の三つの側面や，「製品の安全性」，「製品の品質」などさまざまな視点があり，客観的に判断・評価し，主体的に活用できるようにするための工夫がなされている。また，その次のページには，技術とわたしたちの未来について，自分自身のこととして考えさせる問いが複数挙げられており，学習の内容を深めたり広げたりしていくための工夫がされている。</p>
<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>家庭分野では，「開隆堂」を選定している。</p> <p>観点6，視点⑬「知性，探究心，創造性，逞しさを育むための工夫」では，「学習した内容を実生活で活用するための活動例数及び具体例」を調査している。153ページには，「家族のルールを考え，提案する」という課題が掲載され，生徒が学習の中で習得した知識と技術を生活の場で生かせるような工夫がされている。また，211ページには，学習のまとめとして，「生活に生かそう」という欄があり，自分の生活の課題とこれからの生活に生かしていくことをまとめ，学級で交流ができるよう工夫されている。この「生活に</p>

<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>生かそう」は、全ての内容で掲載されている。</p> <p>視点⑩「伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫」では、「学習を深化・発展へとつなげる内容の記載」を調査している。234、235ページには、「消費者としての力をつけよう」という学習を深めたり広げたりして、さらに探究していく内容が記載されている。</p> <p>英語では、「教出」を選定している。</p> <p>観点6、視点⑩「知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫」では、知性、探究心、創造性、逞しさを育むために、まず、自分の意見をもたせ、他の領域につながる発展的な学習を進める必要があると考える。そのため、教科書で学習した語句・文法事項などを、さらに発展的に活用する教材の設定等を調査した。どの発行者においても、学習した語句・文法事項などを活用し、自分の意見をもたせる設問が設定されている。しかし、他領域と関連させた発展的な教材として、教出では、別冊がついており、小單元ごとに、「プラス アクティビティ」として、教科書本文で学習した語句・文法事項などが発展的に活用され、即興的な会話や生徒自らの思いや意見を書く活動など他領域と関連した活動が豊富に設定されている。例えば、3年生レッスン1のパート1では、教科書で扱われている文型を使って、生徒自身が訪れた場所について、ペアで自由に対話をする課題が設定されている。このことは、今後、グローバル社会において、創造性、逞しさを育みながら、英語で積極的に他者と意見交流する力を育成することに有効であると考えます。</p>
<p>事務局 (豊かな心育成課担当者)</p>	<p>「特別の教科 道徳」では、「光村」を選定している。</p> <p>観点1から5までは、広島中学校と同様であるため、説明は割愛する。</p> <p>観点6、視点⑩「知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫」では、人間としての生き方を深く考えることができるコラムや資料等の具体例について調査した。その結果、複数の発行者において、四つの視点に関するコラムや資料等がそれぞれ掲載されており、例えば「光村」では、「C 公正、公平、社会正義」の「ぼくの物語 あなたの物語」の教材の後ろに、「コラム 共生 『世界の子供たちの状況』」が掲載されており、「ユニセフ 世界子供白書」などの資料を基に、様々な環境に置かれている子供たちの状況や取組などが、イラストを交えて示されている。このように、自分との関わりにおいて、様々な事象を多面的・多角的に考察し、知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫が見られる。</p> <p>次に、視点⑭「人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫」では、情報モラルと現代的な課題に関する教材の具体例について調査した。その結果、「光村」、「日文」、「学研」、「廣あかつき」では、全ての学年に複数掲載されていた。例えば「光村」では、インターネットサイトへの書き込みを取り上げた教材「言葉の向こうに」の後ろに、「コラム 情報モラル 『ネットの書き込み、大丈夫?』」が掲載され、情報社会に生きる様々な問題について考えるページを設けたり、「生命の尊さ」に係る教材が、全ての学年に複数掲載されたりしている。3年間を通して、科学技術の発展と生命倫理との関係など、現代社会を生きる上での課題を自分との関係において考えることにより、諸課題には多様な見方や考え方があることに気付くことができ、人間の多様性を尊重し、他者と協働する力の育成につなげる上で効果がある。</p> <p>これらを検討したところ、評価結果は光村と日文が同一となったが、学校独自の観点6の結果を重視し、「光村」を選定した。</p>
<p>会長職務代理</p>	<p>ただ今の説明について、10分ほどグループで意見交換を行っていただきたい。</p>

	<p><意見交換（10分）></p>
会長職務代理	<p>それでは、広島中学校及び三次中学校の選定状況の説明について、グループで出た御意見、御質問を紹介していただきたい。</p>
委員	<p>広島中学校の道徳について、観点6，視点⑮にAがたくさん並んでいる中の、B評価についてもう少し詳しく聞きたい。</p>
委員	<p>別冊が付いているものについて、どのように検討されたのか。</p>
委員	<p>同じく広島中学校の道徳について、A評価の数は同じなのに、「光村」が選定されているのは、観点6の学校の特色を生かす工夫の評価が高いからか。</p>
委員	<p>いじめの問題に関する学習活動について、各学年の関連性はあるか。そのことについて検討されたのか。</p>
委員	<p>三次中学校の英語の観点6，視点⑬の説明の中で、「対話」ということに触れていたが、これは視点⑭の「ディベート等」にも関連するのではないか。</p>
委員	<p>三次中学校の保健体育について、観点6，視点⑪の評価基準に示されている「4者の平均」の解釈が分からない。</p>
委員	<p>4者の「者」はどういう意味か。</p>
委員	<p>英語の観点6，視点⑬のAの評価基準「Bの基準を満たし、他領域と関連させた発展的な教材がある」について、学習指導要領に「発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導」と示されているので全ての教科書に含まれており、「他領域と関連させた」教材という視点で調査したということによいか。</p>
委員	<p>まだ開校されていない中で、教科書の選定委員はどのようになっているか。</p>
委員	<p>意見として、評価の基準について、例えば、理科の観点6，視点⑮「生徒同士で意見を検討・改善させる工夫」についても、単元の数だけではなく、生徒から様々な意見が出やすい教材かどうかというものが評価基準としては大切なのではないかと思う。</p>
会長職務代理	<p>質問について、事務局から回答をお願いします。</p>
事務局	<p>まず、英語について回答する。 観点6，視点⑬のAの評価基準については、他領域と関連させた教材があるかどうかを調査の基準としている。</p>
会長職務代理	<p>英語については、視点⑬と⑭に係る質問が2点あった。回答をお願いします。</p>
事務局	<p>英語の観点6，視点⑬の「対話」と視点⑭の「ディベート」については、「即興性のある対話」は、事前に準備をすることなく、その場で話をする事、 「ディベート」は、自分の立場を明確にして、相手を納得させるよう筋道を立てて話し合いをすることと捉え、項目を分けて調査している。</p>

事務局	<p>続いて保健体育について回答する。</p> <p>4者とは、「東書」、「大日本」、「大修館」、「学研」のことである。視点⑩では、「生徒自身が意思決定を行う学習内容の取扱い数」について調査したところ、「東書」6、「大日本」5、「大修館」5、「学研」11という結果となり、4者の平均は6.75であった。</p>
事務局	<p>4者の「者」は、発行者のことである。教科書発行者については、省令等においても、会社の「社」ではなく、「者」を用いている。</p>
事務局	<p>続いて、広島中学校の道徳について回答する。</p> <p>観点6、視点⑮について、もう少し詳しく説明する。自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるためには、実生活や他教科等へ広げたり深めたりすることができるコラムや資料等が重要と考える。全ての発行者においてこれらのコラムや資料が掲載されており、さらに道徳のAからDの四つの視点に関するコラムや資料等を掲載しているものについては、A評価としている。</p> <p>「光村」と「日文」はA評価が同じ数である。観点6の学校の特色を生かす工夫についての調査結果に重点を置き、その結果、「光村」を選定したということである。</p> <p>続いて、三次中学校の道徳に回答する。</p> <p>別冊の扱いについては、例えば、視点②「発問の示し方」については、別冊にある発問と教科書にある発問を比較したり、視点⑫「自分の考えをまとめたり振り返ったりする活動の示し方」については、毎時間の振り返り、1年間を通しての振り返りがあるか等について、別冊を加味しながら調査したりしている。</p> <p>いじめの問題に関する教材については、身近なところから発展的なものへという視点は重要であると考えますが、いじめの問題を直接的に扱っているものもあれば、間接的に扱っているものもあり、教材の内容の質を問うことは、客観性が担保しにくい。今回は、各発行者の趣意書に基づき判断した。授業において、発達の段階に応じた指導を行うことについては、改めて指導助言していく。</p>
事務局	<p>開校前の学校における選定委員について回答する。</p> <p>三次中学校及び広島叡智学園中学校については、今年度はまだ生徒はいないが、職員は配置されており、広島中学校と同様に、「平成31年度に県立学校で使用する教科用図書の採択基本方針」に則り、校内に教科書選定会議を設置している。そして、教科ごとに、担当教員で構成する調査部会を置き、全発行者の教科書について調査している。その調査結果を踏まえ、選定会議にて教科書の選定を行っている。</p>
会長職務代理 委員	<p>その他、御意見・御質問はないか。</p> <p>(なし。)</p>
会長職務代理	<p>それでは、資料3「県立広島叡智学園中学校で使用する教科用図書の選定状況」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (義務教育指導課担当者)	<p>国語科では、「三省堂」を選定している。</p> <p>観点6、視点⑬「知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫」において、知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するためには、創造的・批判的思考力の育成につながる教材等があることが必要である。「創造的思考力」の育成につながる教材とは、創造活動や新たな価値を提案する活動を促す内容となっている教材であり、</p>

	<p>「批判的思考力」の育成につながる教材とは、様々な情報を多角的な視点から比較・分析したり、既存の常識を相対化したりする視点を提示する教材であると捉え、調査している。1年生142ページには、「変わり身の上話」といったタイトルで、何かになり変わって、その立場から話を創作するといった「創造的思考力」の育成につながる教材が掲載されている。</p> <p>続いて、視点⑭「社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫」を御覧いただきたい。社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するという点から見ると、教科書に国際的な内容を取り上げた読み物教材等があることが好ましいと考える。これらは、どの教科書でも示されている。「三省堂」1年生174ページには、「この小さな地球の上で」という教材が掲載されており、地球や人間に対する筆者の考え方を読み取り、自分のものの見方や考え方を広げることができる。</p>
<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>書写は、「教出」を選定している。</p> <p>観点6、視点⑩「社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫」において、社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育てていくためには、日本のみならず他国の文字文化について掲載されていることが必要である。「教出」は、38ページに、中国の文字文化と日本の文字文化とのつながりを実際の書等を掲載しながら系統的に示している。これらは、全ての発行者に掲載されている。</p> <p>次に、観点3、視点⑥「単元・教材や資料等の配列」を御覧いただきたい。先ほどの三次中学校の際にも説明したが、毛筆を使用する書写の指導は、硬筆による書写の能力の基礎を養うように配慮することが求められている。「教出」103ページを御覧いただきたい。他者は第3学年に硬筆記入欄を設けていないが、硬筆の記入欄が全ての学年に掲載されており、硬筆による書写の能力を高めるための工夫が見られる。</p>
<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>地理では、「日文」を選定している。</p> <p>観点6、視点⑬「知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫」において、知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するためには、創造的な思考を促す資料等があることが必要である。そこで、先ほどの三次中学校と同じく「身近な地域の調査」において、創造的な思考を促す事例について調査している。</p> <p>268ページには、「身近な地域の調査」において、レポートを作成した後、「私たちにできることを考えよう」という特設ページを設けている。調査によって気付いた地域の課題の解決に向けて、実際に地域の行事に参加し、自分たちの課題として地域の課題を捉え、解決に向けて自分たちが実践できることを考察させるようにしている。「身近な地域の調査」で学んだことをさらに実践へとつなげていく工夫を示しているのは「日文」にしかない特徴である。このような工夫は、高い目的意識をもって自ら社会に参画しようとする姿勢や意欲を育てることに有効であると考えられる。</p>
<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>歴史では、「東書」を選定している。</p> <p>観点6、視点⑬「知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫」において、知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するためには、創造的に思考し、表現する方法の具体的事例等が必要である。そこで、「身近な地域の歴史を調べる」学習における創造的に思考し、表現する方法の具体的事例について調査している。</p> <p>「東書」の他、複数の発行者において、身近な地域の歴史を調べる学習の中で、調査した内容についての表現方法が複数示されている。</p>

<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>「東書」の188ページには、「身近な地域の歴史を調べる」学習の中で、調査内容の表現方法の一つとして「イラストマップ」の作成を掲載している。「調査の達人」において「イラストマップ」の作成に関する留意点や具体的事例を掲載している。この他にもレポート、年表、プレゼンテーションソフト、ウェブページなど多様な表現方法を事例とともに掲載している。調べた内容を表現する具体的な事例を多く掲載する工夫は、知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力の育成、特に創造的思考力の育成に貢献するものと考ええる。</p> <p>公民では、「東書」を選定している。</p> <p>観点6，視点⑭「社会の持続的な平和と発展に向け，異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫」において，社会の持続的な平和と発展に向け，異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するためには，文化の多様性に関する資料等が必要である。そこで，「私たちが生きる現代社会と文化」において，我が国の伝統文化や他文化の理解に関するコラムと読み物資料について調査している。</p> <p>全ての教科書に「伝統文化」，「多文化の理解」に関する資料が掲載されている。</p> <p>「東書」の21，22ページには，「多文化共生のまちづくり」，「伝統文化の継承と私たち」など，多文化共生，伝統文化の継承などの視点に立った資料が複数掲載されている。また，「トライのコーナー」に，「伝統文化の継承のために，自分たちにできることをクラスで話しあいましょう。」という課題が記載されている。グローバル社会で活躍する人材を育成するために，協働的な学びを進めていく際に，これらの資料を効果的に活用することができると考える。</p>
<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>地図では「帝国」を選定している。</p> <p>観点6，視点⑩「知識・技能の深い理解を促し，創造的・批判的思考力を育成するための工夫」において，知識・技能の深い理解を促し，創造的・批判的思考力を育成するためには，自ら考察することを促す問い等が必要である。そこで，資料を関連付けて考察することを促す問いについて調査している。</p> <p>149，150ページには，日本の工業の特色の考察を促す問いが示され，「やってみよう」で日本の工業の特色・分布，その理由について複数の地図やグラフなどを利用した考察を促すようになっていく。このように，知識・技能の深い理解を促し，創造的・批判的思考力を育成する工夫が，全ての中項目において見られる。</p>
<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>数学科では，「学図」を選定している。</p> <p>観点6，視点⑬「知識・技能の深い理解を促し，創造的・批判的思考力を育成するための工夫」では，数学的な推論の必要性と意味及びその方法の理解について調査している。2年生126，127ページには，証明の構想や方針等の手順の記述がある。さらに，128，129ページにあるように，新たな図形の性質などを見出させたり，条件を変えた場合を考えさせたりするという記述が複数ある。</p> <p>また，視点⑭では，数学的な表現を用いて説明し伝え合う問題例，記載数を調査している。複数の発行者において，数学的な表現を用いて説明し伝え合い，事柄の本質を明らかにすることを促すような記述が，各学年に1つはある。三次中学校の説明においても取り上げたが，1年生82，83ページには，文字式を利用して，ストローの本数の求め方を考える問題が記載されている。83ページには，生徒が考え方を説明し伝え合う問題がある。</p>

<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>理科は「東書」を選定している。</p> <p>観点6，視点⑭「知識・技能の深い理解を促し，創造的・批判的思考力を育成するための工夫」では，既習事項や他教科での学習内容を結び付けて考えさせる場面を設定することが重要だと考え，調査している。1年生128ページには，「学びを活かして考えよう」などの項目で学習内容を結び付けて考えさせる場面が設定されている。他者に比べ，多くの箇所でそのような場面が設定されている。</p> <p>次に，視点⑮「社会の持続的な平和と発展に向け，異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫」では，先ほどの三次中学校と同じく，生徒同士でお互いの意見を検討・改善させる場面が教科書に設定されていることが重要だと考え，調査している。全ての単元で，お互いの意見を検討・改善させる場面が設定されているが，複数箇所設定されているのは「東書」と「学図」であった。例えば，1年生37ページには，「調べる条件について考えよう」などのトピックに「話す」という吹き出しを付けて，具体的な検討のモデルとともに，お互いの意見を検討したり，改善したりする場面が設定されている。</p>
<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>音楽一般においては，「教芸」を選定している。</p> <p>観点6，視点⑩「知識・技能の深い理解を促し，創造的・批判的思考力を育成するための工夫」では，表現と鑑賞の関連を図った学習活動について調査している。「教芸」では，各学年において，表現と鑑賞の学習の関連を図った題材が複数記載されている。</p> <p>2・3年生下40，41ページには，能についての説明や能舞台，あらすじなど，鑑賞するための視点等が示されている。42，43ページには，能の謡を謡うための節回しや「この部分を歌う時に気を付けること」が示されており，表現と鑑賞の関連が図られている。他にも雅楽において，同様に表現と鑑賞の関連が図られている。このような学習が「教芸」には各学年に掲載されている。「教出」にも同様に各学年に複数の題材が掲載されている。</p> <p>観点6，視点⑫「社会の持続的な平和と発展に向け，異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫」では，「歌唱における合唱の扱い」について調査している。各学年の合唱の題材において，声部の役割や全体の響きを感じ取り，表現を工夫して歌うための課題の設定と具体的な活動について記載されている。2・3年生上56ページを御覧いただきたい。上の四角囲みに表現を工夫して歌うための課題の設定等が示されており，このページから10曲に渡って同様に示されている。「教出」においても同様に，ページの端の「工夫してみよう」のコーナーに課題の設定等が示されており，9曲掲載されているが，「教芸」の方がより具体的に示されている。</p>
<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>器楽についても「教芸」を選定している。</p> <p>観点6，視点⑨では，「合奏表現を工夫するための表記」について調査している。「教芸」では，合奏をするための工夫の視点を具体的に示している。</p> <p>56ページの上の四角囲みに合奏表現を工夫するための具体的な手立てが示されており，このページから19曲に渡って同様に示されている。「教出」においても同様に，ページの上の四角囲みに表現を工夫するための手立てが示されており，このページから19曲に渡って掲載されているが，2者を比較すると，「教芸」の方がより具体的に示されている。</p>
<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>美術では，「光村」を選定している。</p> <p>観点6，学校の特色を生かす工夫の視点⑪を御覧いただきたい。この視点では，知識・技能の深い理解を促し，創造的に様々な立場や視点で思考する力を育成するためには，色々な人の立場に立ち，目的や機能，条件に合わせて思考することが重要と考え調査している。どの発行者も，他者や社会を意</p>

<p>事務局 (豊かな心育 成課担当者)</p>	<p>識したデザインの学習において、発想や構想を広げたり深めたりするためのヒントや制作過程、表現形式等が全て掲載されていた。「光村」の2・3年生56ページには、このように身近な製品を調査し、発想を広げさせる手立てや、企画書、ユニバーサルデザインの発見レポート等が掲載されている。</p> <p>次に、視点⑩「社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫」を御覧いただきたい。この視点では、諸外国の美術や文化の相違と共通性に気付かせるための資料や学習が示されていることが重要だと考え、調査している。どの発行者にも、日本の美術や伝統文化と諸外国の美術文化の相違と共通性に気付かせるための作品や資料が複数掲載されており、比較できるようになっている。「光村」の1年生44, 45ページのように、アジアの踊りの仮面や衣装を取り上げ、違いが分かるように比較して鑑賞できるよう掲載されている。</p> <p>保健体育は、「東書」を選定している。</p> <p>観点6, 視点⑪「知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫」を御覧いただきたい。この視点では、知識や技能を活用して創造的・批判的思考力を促す学習を進めるための内容について調査している。72ページから6ページにわたって「自然災害」についての内容となる。導入の『やってみよう』では被災した中学生の作文を掲載し、個人で思考するきっかけとしている。また、75ページ、『考えてみよう』では、自分の行動例を考えさせ、場面に応じた判断を求めている。さらに、87, 88ページには、「地域安全マップ作成」や「さまざまな自然災害の危険と安全な避難」を掲載し、実生活の場面で、学習したことをもとに思考し判断する場を設けている。</p> <p>次に、評価基準表の視点⑫「社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫」では、国際的なスポーツやスポーツに関わる様々な立場についての内容の掲載、及びスポーツの文化的意義を多面的・多角的に考察させる資料について調査している。巻頭口絵には、国内にとどまらず、世界的に活躍する人たちの紹介がされており、国際的視点を持つきっかけになっている。158, 159ページ、『やってみよう』では、オリンピック以外の国際大会についても例に挙げており、『生かそう』では、スポーツ選手の国際親善の活動について調べさせるなど、スポーツが果たす役割について具体的に触れ、より多面的・多角的に考察させる工夫が見られる。</p>
<p>事務局 (義務教育指 導課担当者)</p>	<p>技術分野では、「東書」を選定している。</p> <p>観点6, 視点⑫「知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫」を御覧いただきたい。ここでは、「生活における課題を解決するために、工夫したり創造したりする学習活動の具体例」を調査している。38, 39ページを御覧いただきたい。多くの製作品が示され、製作の目的を考えさせる吹き出し等があり、生活における問題点や改善点に目を向けさせる工夫がされている。製作品については、実習例として別ページに、製作手順や構造図、部品表等が掲載されている。</p> <p>視点⑬「社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫」を御覧いただきたい。ここでは、「『情報モラル』に関する内容の事例や資料の掲載及び学習内容と関連した扱い方」を調査している。163ページには、「情報モラル」に関する内容がマークで示されている。内容D「情報に関する技術」だけでなく、他内容においても情報モラルの具体的な事例や参考資料が掲載されており、内容Dと関連付けて指導できる工夫がされている。</p> <p>家庭分野では、「開隆堂」を選定している。</p>

<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>観点6, 視点⑬「知識・技能の深い理解を促し, 創造的・批判的思考力を育成するための工夫」を御覧いただきたい。ここでは, 「学習を深化・発展へとつなげる内容の記載」を調査している。30ページ, 31ページ, 「幼児の衣服と食べ方の特徴」を御覧いただきたい。幼児の発達に関わり, 周囲にいる大人がどのように支援をしていくかを考えさせる内容になっている。他の発行者にも学習を深める内容が記載されているが, 開隆堂は, さらに探究していく内容として掲載されており, 知識・技能の深い理解を促すことに有効であると考えられる。</p> <p>視点⑭「社会の持続的な平和と発展に向け, 異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫」を御覧いただきたい。ここでは, 「家庭生活と地域の人々とのかかわりについての学習の事例」を調査している。どの発行者も家庭生活と地域の人々との関わりについての学習事例やロールプレイングが掲載されている。51ページのロールプレイングを通して家族の気持ちを考える学習活動では, ロールプレイングの手順例や設定例などが示され, 家族関係をよりよくするための方法や家族の一員としてできることを具体的に考えることができる工夫がされている。</p>
<p>事務局 (義務教育指導課担当者)</p>	<p>英語では, 「光村」を選定している。</p> <p>観点6, 視点⑬「知識・技能の深い理解を促し, 創造的・批判的思考力を育成するための工夫」では, 知識・技能の深い理解を促し, 創造的・批判的思考力を育成するためには, 創造的・批判的思考力の育成につながる課題等が必要であると考え。そこで, 創造的思考力を育成する課題として, 受け取った内容を踏まえ, 自分の意見をもたせる課題, また, 「批判的思考力」を育成する工夫として, 自分の意見を批判的に振り返る機会の設定を調査した。93ページを御覧いただきたい。まず, 身近な話題に関する記事を読んで, 立場を決めて, 自分の意見を書かせる課題を設定している。このように, 読んだことについて自分の意見を書かせることは, 他の発行者においても同様に設定されている課題である。さらに, 「光村」では, 自分の意見を批判的に振り返り, 自分の考えを書く機会の設定の工夫が見られる。例えば, 意見交換の活動の最後に, もう一度, 自分はどう思うかを考え, 自分の意見とその理由を書く「rewrite」の指示が, 明確に示されている。他の発行者には, このような「rewrite」を通し, 自分の意見を振り返る機会を設定しているものはない。</p> <p>このことは, 多様な価値観に触れるグローバル社会において, 創造的・批判的思考力を働かせながら, 英語で他者と意見を交流する力を育成することに有効であると考え。</p>
<p>事務局 (豊かな心育成課担当者)</p>	<p>「特別の教科 道徳」では, 「光村」を選定している。</p> <p>観点1から5までは, 広島中学校と同様であるため, 説明は割愛する。</p> <p>観点6, 視点⑬「知識・技能の深い理解を促し, 創造的・批判的思考力を育成するための工夫」では, 人間としての生き方を深く考えることができるコラムや資料等の具体例について調査した。ほとんどの発行者において, 四つの視点に関するコラムや資料等がそれぞれ掲載されている。例えば, 「光村」では, 「D 自然愛護」の教材「僕の職場は富士山です」の後ろに, 「コラム 環境 『国立公園を楽しもう』」が掲載されており, 美しい自然を守り, 後世に伝えていく役割を担っている国立公園の取組などが写真とともに紹介されている。さらに, コラムの最後に「本やインターネットなどで調べてみよう」と投げかけており, 今後, 知識・技能の深い理解を促すことにつながる工夫が見られ, 道徳的諸価値の多面性に着目し, 「人間としていかに生きるべきか」についてより深く考えることができる。</p> <p>視点⑭「社会の持続的な平和と発展に向け, 異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫」では, 日本の伝統・文化や国際理</p>

	<p>解、及び多様な価値観の理解に関する教材の具体例について調査した。「学図」,「光村」,「学研」において、日本の伝統・文化や国際理解・国際貢献に関わる教材が掲載されるとともに、さらに深く考えさせる資料等が各学年に掲載されている。例えば、「光村」では、「C 国際理解・国際貢献」の教材「アンネのバラ」の後ろに、「コラム 国際理解 『国際人道支援 - どんな仕事があるのだろうか』」が掲載されており、「国境なき医師団」を例にさまざまな職種の人が現地スタッフと協力しながら活動している様子が紹介されている。また、各学年の巻末には、日本の伝統・文化につながる「日本の郷土玩具」や「日本各地の世界遺産」などが写真や説明と共に掲載されている。</p> <p>このような工夫は、社会の持続的な平和と発展に向け、多様な価値観の存在を前提にして、他者と協働する力を育てる上で効果がある。</p> <p>これらを検討したところ、評価結果は光村と日文が同一となったが、学校独自の観点6の結果を重視し、「光村」を選定した。</p>
会長職務代理	<p>それでは、ただ今の説明について、10分ほどグループで意見交換を行っていただきたい。</p> <p><意見交換（10分）></p>
会長職務代理	<p>それでは、広島叡智学園中学校の選定状況の説明について、グループで出た御意見、御質問を紹介していただきたい。</p>
委員	<p>意見として、社会で多様な地域から来る叡智学園の生徒に「身近な地域」について指導する際には、工夫が必要であろうと思う。</p>
委員	<p>意見として、2点ある。まず、観点6において、学校の特色を出していることがよく分かった。2点目は、評価基準についてである。評価基準について、同一教科において、ある視点では「4者の平均以上」、別の視点では「4者中最も多い」となっている。「4者中最も多い」とすると、Aが付くのは1者のみとなるが、基準を変えている意図は何かと思った。</p>
委員	<p>同じく意見として、観点6の調査項目の数が学校によって違うので、調査項目の数が同じだった場合、選定結果が変わる場合もあり得るのではないかと思った。また、観点6、視点⑮「社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫」について、数学と理科は、直接的な調査項目になっていないが、教科の特性を踏まえてのことだろうと話した。</p>
委員	<p>説明の仕方に対する意見として、今回は、観点6を中心に説明され、A A AとかB B Bとかの部分の説明もあった。しかし、差のないところを説明されるよりも、差がある調査項目について説明される方が分かりやすい。</p> <p>また、保護者の立場として、子供が興味をもって取り組むことができるかという視点も常にもっていただきたい。</p>
委員	<p>理科と保健体育について、5者又は4者の平均以上という評価基準があったので、各発行者の数と平均を教えてください。</p>
委員	<p>音楽について、観点6、視点⑯の評価基準Aに、「各学年の合唱の題材において、声部の役割や全体の響きを感じ取り・・・」とあるが、学習指導要領には、「感じ取る」のは、第1学年であり、第2学年及び第3学年は「か</p>

	<p>かわりを理解する」ことが示されている。評価基準の記述は、各学年ではなく、第1学年ではないか。</p>
<p>会長職務代理</p>	<p>二つの質問があったと思う。事務局から回答をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>保健体育において、生徒自身が意思決定を行う学習内容の取扱い数を調査した結果、「東書」7、「大日本」5、「大修館」5、「学研」11であり、4者の平均は7である。よって、「東書」と「学研」がA評価となる。</p>
<p>事務局</p>	<p>理科については、資料を確認し後程回答する。</p>
<p>事務局</p>	<p>音楽について回答する。 調査は、各学年の学習指導要領の趣旨に基づいて行っている。観点6、視点⑫においても同様であり、評価基準には「声部の役割や全体の響きを感じ取り」と示しているが、第2学年及び第3学年の学習指導要領にある「声部の役割や全体の響きとのかかわりを理解して」ということを考慮して調査している。</p>
<p>事務局</p>	<p>理科の視点⑭における、5者の記述の数について回答する。 「東書」136、「大日本」92、「学図」78、「教出」67、「啓林館」86で、5者の平均は91.8となり、「東書」と「大日本」がA評価となっている。</p>
<p>会長職務代理</p>	<p>それでは、資料4「県立特別支援学校の小学部及び中学部における平成31年度に使用する教科用図書の選定状況」及び資料5「県立特別支援学校中学部における平成31年度に使用する教科用図書（「特別の教科 道徳」）の選定状況」について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (特別支援教育課担当者)</p>	<p>はじめに、前回御審議いただいた「平成31年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書選定資料」について、1か所誤記があったので、修正した箇所を説明する。配付している「選定資料」を御覧いただきたい。 9ページ7番「ピーマン村の絵本たち おおきくなるっていうことは」の「おおきく」を漢字で表記しているが、正しくは平仮名表記であった。 続いて、資料4を用いて、「県立特別支援学校の小学部及び中学部における平成31年度に使用する教科用図書の選定状況」について説明する。 今年度は、特別支援学校小学部で使用する「特別の教科 道徳」を除く小学校用教科用図書、中学部で使用する「特別の教科 道徳」の教科書、学校教育法附則第9条の規定による教科用図書、いわゆる絵本等の「一般図書」を採択する。 1ページを御覧いただきたい。まず、県立特別支援学校の教科書採択のスケジュールについて説明する。 右端の県立義務教育諸学校の欄の県立特別支援学校では、採択基本方針に基づき、5月以降、各学校に教科書選定会議を設置するとともに、選定資料に基づき調査研究を行った。 各校は選定した教科用図書について、採択申請書、選定理由書とともに、7月5日までに、県教育委員会に提出したところである。 県教育委員会の欄を御覧いただきたい。各校から提出のあった採択申請書及び選定理由書の点検を行うとともに、本日、第3回選定審議会にて諮り、その後教育委員会会議で指揮を受けた後、8月31日までに採択手続きを行っていく。 まず、特別支援学校小学部で使用する「特別の教科 道徳」を除く小学校用教科用図書の選定状況について説明する。 資料4、2ページ「平成31年度に県立特別支援学校小学部で使用する教科</p>

用図書の選定状況」を御覧いただきたい。

表は、横に障害種別の校名、縦に検定済教科書、著作教科書、絵本等の一般図書等、使用する教科書の種類を示している。

視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱の特別支援学校は、小学校の教育課程に準ずる教育を行っており、検定済教科書を使用する。

小学校は、今年度、「特別の教科 道徳」を除く全教科の採択の年に当たるが、平成32年度からは、次期学習指導要領に基づいた教科書を使用するため、今年度採択した教科書は、平成31年度の1年間のみ使用する。

各校では、選定資料や発行者の趣意書を参考にし、また、前回選定した図書からの訂正箇所を確認した上で、4年間の使用実績を踏まえて調査研究を行った。

その結果、どの学校も全ての教科について、現在使用している発行者を選定している。「特別の教科 道徳」については、昨年選定した発行者の教科書を来年度も使用する。

3 ページを御覧いただきたい。知的障害特別支援学校の選定状況について説明する。「特別の教科 道徳」については、昨年選定した発行者の教科書を来年度も使用する。

4 ページ「平成31年度に県立特別支援学校中学部で使用する教科用図書の選定状況」を御覧いただきたい。

検定済教科書の「特別の教科 道徳」欄には、各校が選定した発行者を示している。

5 ページは、知的障害特別支援学校の選定状況である。「特別の教科 道徳」の教科書として6校1分教室が検定済教科書を選定している。後程、障害種別に、選定理由を説明する。

6 ページ「平成30年度県立特別支援学校における教科書選定会議の状況」を御覧いただきたい。各校では調査研究の観点に基づき、選定資料、教科書見本等を参考に調査研究を行うとともに、全ての学校で教科書選定会議を設置している。構成員は、教科用図書の採択に直接の利害関係を有するものでないこと、特定の教科書発行者と関係を有するものでないことを、校長が確認済みである。この会議の開催回数は7月5日現在で、各校を平均すると2.3回となっている。

続いて、資料5を用いて、「県立特別支援学校中学部における平成31年度に使用する中学校用教科用図書『特別の教科 道徳』の選定状況」について説明する。

1 ページを御覧いただきたい。視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱の特別支援学校では、中学校に準ずる教育課程を編成しており、検定済教科書を使用する。障害種別により生徒の実態が異なることから、教科書選定の観点を障害種別ごとに示している。

中ほどの教科書選定の観点を御覧いただきたい。視覚障害では、文字の大きさ等が見やすいこと、聴覚障害では、視覚資料が効果的に組織、配列されていること、肢体不自由では、教科書の大きさ等が扱いやすいものであること、病弱では情報機器の活用や、指導内容が精選されていること等、各障害種別の教育に必要な配慮がされている教科書を選定する必要がある。

一番下の段、「調査研究の観点」を御覧いただきたい。教科書選定に当たって各校では、選定資料を参考に、種目別及び障害種別の観点に基づいて、調査研究を行い、教科書選定を進めてきた。

2 ページを御覧いただきたい。各校が提出した選定理由書の抜粋である。視覚障害特別支援学校である広島中央特別支援学校では、「教出」を選定している。

「特別の教科 道徳」については、文部科学省著作教科書として点字教科書が作成される。文部科学省から、この点字教科書の原典となる検定済教科書は「教育出版」である旨の通知があったので、「教出」を使用することに

なる。

続いて、聴覚障害特別支援学校である広島南、尾道、呉南特別支援学校である。三校とも「光村」を選定している。代表として、呉南特別支援学校の選定理由について説明する。

選定理由として、教材文は授業時間内で聴覚障害を有する生徒が読み、思考するのに適切な量であること、単元の初めに考える視点が提示されているため、文章の内容理解に時間を要する聴覚障害のある生徒が、学習することと日常生活とのつながりを想起しやすくなり、見通しをもって課題に取り組むことができること等を挙げている。

「光村」1年生41ページを御覧いただきたい。単元の初めに、考える視点が示されているため、「生徒が、学習することと日常生活とのつながりを想起しやすくなり、見通しをもって課題に取り組むことができる」としている。

さらに、63ページのように、「学習後のまとめ・振り返り」では、学びのテーマ、考える観点等の思考の道筋が示されていることから、順序立てて整理しながら考える上で効果的であることを挙げている。

聴覚障害のある生徒は、音声情報の不足により、言語の習得や言語概念の形成に困難さがある。文章の読み書きに時間を要するため、読み取りやすい文章や字数であること、また、読み取ったことを基に思考するために、考える視点を視覚的にわかるように示してあること等の工夫が必要である。「光村」の教科書の特徴や工夫が、聴覚障害のある生徒に適しているとしている。

続いて、3ページを御覧いただきたい。肢体不自由特別支援学校である広島、福山、西条特別支援学校は、いずれも「廣済堂あかつき」を選定している。代表として、西条特別支援学校の選定理由について説明する。

選定理由として、教材には具体的な設問が多く、生徒が自分の体験や人との関わりを想起する中で自己を見つめ、人としての生き方について考えを深めることができること、別冊ノートは、内容項目ごとにまとめてあり、自分の考えの整理や振り返りをする際、ページ移動が少なく、扱いやすいこと等を挙げている。

「廣あかつき」別冊32ページを御覧いただきたい。中綴じ製本で開きやすく、記入欄も大きく設けられていることから、運動・動作に困難さがある肢体不自由のある生徒にとって使いやすいている。ノートの左ページには、自分の体験や人との関わりなどを振り返り、様々な視点で考えることができるような設問がある。

続いて、病弱特別支援学校である広島西特別支援学校の選定状況について説明する。広島西特別支援学校では、「光村」を選定している。

選定理由として、障害のある高校生や病気や事故で入院や自宅療養する少女を取り上げた教材があることや、「人と人との関係づくり」というコラムが掲載されており、友だちや周囲の人とのやり取りについて内省することができることなどを挙げている。

「光村」3年生40ページを御覧いただきたい。健康に気を付ける、相手の体調や気持ちを思いやるなど、病室と学校での生活が長期間続き、人間関係が限定的になりがちな病弱の生徒が、客観的に自分を振り返ることができる、としている。

4ページを御覧いただきたい。続いて、知的障害のある生徒に、「特別の教科 道徳」の検定済教科書を使用する学校の選定状況について説明する。代表として、三原特別支援学校の選定理由を説明する。三原特別支援学校では、「学研」を選定している。

選定理由として、意見文、物語、詩、劇、写真や漫画での展開など多様な形式の教材で構成されているため、知的障害のある生徒に多様な授業展開ができること、大きな紙面を生かした迫力のある構成であるため、生徒が興味をもちやすく、文章だけでは理解が難しい生徒も学習しやすいこと、主題名を本文中に記載しないなど、価値観を固定せず、生徒の問題意識を大切にし

	<p>た構成・展開にしており、生徒の道徳心を培うのに適していることを挙げている。</p> <p>「学研」小学校2年生34, 35ページ及び28, 29ページを御覧いただきたい。場面の様子を表す大きな挿絵や、多くの写真が掲載されている。タイトルには教材名が記載されており、主題の記載はない。</p>
<p>会長職務代理</p>	<p>続けて、資料6「知的障害のある児童又は生徒の教育課程を編成している特別支援学校の小学部及び中学部における平成31年度に使用する文部科学省著作特別支援学校知的障害者用教科用図書及び一般図書の選定状況」について、事務局から説明をお願いする。</p>
<p>事務局 (特別支援教育課担当者)</p>	<p>資料6を使って、「知的障害のある児童又は生徒の教育課程を編成している特別支援学校の小学部及び中学部における平成31年度に使用する文部科学省著作特別支援学校知的障害者用教科用図書及び一般図書の選定状況」について説明する。</p> <p>1 ページを御覧いただきたい。まず初めに、学校教育法附則第9条の規定による教科用図書、これを絵本等の「一般図書」とよんでいるが、この一般図書の使用について説明する。</p> <p>中ほどの表は、知的障害特別支援学校の小学部、中学部の各教科を示している。この表に示している各教科は、特別支援学校学習指導要領に示されている知的障害特別支援学校における各教科を指しており、小学校の学習指導要領の各教科とは指導目標及び指導内容が異なる。小・中学部では、国語、算数、数学、音楽については知的障害者用の著作教科書がある。その下の段の「教科」については、著作教科書が発行されていない。そのため市販の絵本等の一般図書を教科用図書として使用することができる。また、障害の状態が重い児童生徒で、上段の著作教科書を使用することが適当でない場合にも、この絵本等の一般図書を使用することができる。</p> <p>2 ページを御覧いただきたい。教科書選定の観点及び調査研究の視点を示している。</p> <p>絵本等の一般図書は、各教科の目標を達成するための主たる教材として作成されたものではない。また、県立の特別支援学校は、知的障害特別支援学校の他に、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱等の障害種別になっており、視覚障害と知的障害等、障害が重複している児童生徒も在籍している。</p> <p>そのため、ここに示す教科書選定の観点・視点で、絵本等の一般図書の調査研究を行い、児童生徒の障害の種類、程度、能力・特性及び発達段階に最もふさわしい内容の教科用図書を選定する必要がある。</p> <p>3 ページを御覧いただきたい。知的障害特別支援学校の教育課程の構造と、各教科等を合わせた指導について簡単に説明する。これは、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱特別支援学校において、知的障害を併せ有する児童生徒に対する教育を行う場合も含む。</p> <p>知的障害者を教育する特別支援学校では、各教科、道徳、特別活動及び自立活動の一部又は全部を合わせて指導する「各教科等を合わせた指導」を行っている。知的障害のある児童生徒の場合、その学習上の特性として、学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、実際の生活の場で応用されにくいこと、また、実際的な生活経験が不足しがちであることから、実際的・具体的な内容の指導がより効果的であると考えられ、日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習などとして実践されてきた。</p> <p>道徳の指導についても、知的障害特別支援学校では、これまで「日常生活の指導」や「生活単元学習」など、各教科等を合わせた指導の中で行っている。小・中学校のように、毎週1時間、教科書教材を読み、話し合いながら学習するスタイルとは違い、具体的な活動の中で、適宜教科書を活用しながら、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てていくことになる。</p>

例えば、中学部の生活単元学習で、地域の人を招いたおもてなし会を企画・実践するという単元で、高等部の先輩がカフェを開いて接客をしている様子を見て気持ちの良い接客の仕方を知り、学んだことを生かして地域の人に実際に接客をするといった具体的場面を通じて、時と場所を理解しながら、礼儀正しく接する態度を育てていく。教科書は、単元の学習活動の中で効果的に使用することになる。

続いて、各校の選定状況について説明する。

4ページを御覧いただきたい。「知的障害のある児童又は生徒の教育課程を編成している特別支援学校の小学部及び中学部における平成31年度に使用する文部科学省著作特別支援学校知的障害者用教科用図書及び一般図書の選定状況」を示している。左側に特別支援学校を障害種ごとに掲載している。

文部科学省著作知的障害者用教科用図書については、表の○印で示しているとおり、障害の状態が重い児童生徒が在籍している西条特別支援学校八本松分級を除き、全ての特別支援学校の小学部、中学部において選定している。

絵本等の一般図書については、一般図書一覧に掲載している図書と、一般図書一覧掲載以外の図書の点数を分けて示している。

選定状況を見ると、小学部では265点の一般図書を選定しているが、そのうち「一般図書一覧」掲載図書は211点で、全図書点数の79.6%である。

中学部では、190点の一般図書を選定しており、そのうち「一般図書一覧」掲載図書は155点で、全図書点数の約81.6%である。

5ページから、各学校が選定した一般図書の内訳について、学部別、学校別に「平成31年度用一般図書一覧」掲載図書、「平成31年度用一般図書一覧」以外の図書として表にまとめた。小学部が5ページから、中学部が11ページからとなっている。

16ページを御覧いただきたい。

ここからは、各特別支援学校から提出のあった教科用図書選定理由書を抜粋したものをを用いて、「特別の教科 道徳」を例に具体的に説明する。

一般図書は、各教科の指導を目的として作られているわけではないため、一般図書を選定する際には、学習指導要領段階等の欄に、内容項目の記号を示すよう、選定理由書に欄を設けた。内容項目の番号は25ページ、26ページに学習指導要領解説から抜粋した表を添付している。

17ページ、表の一番下、道徳科の欄を御覧いただきたい。廿日市特別支援学校は知的障害の特別支援学校である。御覧いただいているのは、小学部単一障害第1学年の選定理由書の抜粋である。道徳科の教科書として合同出版の「絵でわかるこどものせいかつずかん4 おつきあいのきほん」という一般図書を選定している。

「小道56」は、小学校第5・6学年の道徳の内容を意味し、括弧で示されている数字は対応する内容項目の番号である。例えば、内容項目の中の一つ、(7)は「誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること」である。

「ありがとうをいう」、「あやまる」など、それぞれの場面での適切な行動の仕方や言葉が、イラストと会話文で具体的に示されている。

学校は、選定理由として、挨拶、思いやりの心等、日常生活に即した具体的な内容があるため、日常生活での人との付き合い方を知って行動する態度を育てることができるとしている。

続いて18ページを御覧いただきたい。広島中央特別支援学校は、視覚障害特別支援学校である。表の一番下、道徳科の欄を御覧いただきたい。中学部重複障害学級第1学年では、草思社の「みんなのためのルールブック あたりまえだけど、とても大切なこと」を選定している。

対応する内容項目の、中学校道徳(10)は、「法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること」

	<p>としている。</p> <p>この図書は、「大人の質問には礼儀正しく答えよう」、「相手の目を見て話そう」等、社会生活に必要なルールやマナー等を「50のルール」として紹介している。</p> <p>学校は、選定理由として、視覚による情報を得ることが困難な生徒にとって、改めて「あたりまえのこと」であるマナーについて学ぶことができ、生徒が自己を振り返ったり、日常生活や学校生活の中で生かしたりしやすいことを挙げている。</p> <p>20ページを御覧いただきたい。広島南特別支援学校は聴覚障害の特別支援学校である。表の下から2段目を御覧いただきたい。重複障害学級の第1学年では、偕成社の「子どものマナー図鑑(1) ふだんの生活のマナー」を選定している。</p> <p>対応する内容項目の中の1つ、中学校道徳(2)は、「望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする事」である。</p> <p>学校は、選定理由として、日常生活で必要となる基本的な所作やマナー等について説明してあり、身近な生活場面のイラストが多く掲載されているため、生徒が自己の生活や行動と結びつけて考えやすいことを挙げている。</p> <p>22ページを御覧いただきたい。福山特別支援学校は肢体不自由の特別支援学校である。表の一番下を御覧いただきたい。中学部Ⅱ類型(重複障害学級)第3学年では、講談社の「講談社の年齢で選ぶ知育絵本 4・5・6さいのきもちをつたえることばのえほん」を選定している。</p> <p>対応する内容項目の中の1つ、中学校道徳(6)は、「思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに答え、人間愛の精神を深めること」である。</p> <p>日常のコミュニケーションに必要な言葉について、「あいさつのことば」「おもいやりのことば」などのテーマ別で取り上げている。</p> <p>学校は、選定理由として、場面に応じて、相手のことを考えながら話したり尋ねたりする内容で構成されており、他者への思いやりを感じたり、自分に置き換えて気持ちを表現したりしやすいことを挙げている。</p> <p>23ページを御覧いただきたい。広島西特別支援学校は、病弱特別支援学校である。</p> <p>表の一番下を御覧いただきたい。中学部第3学年Ⅲ類型Aでは、福音館の「みぢかなかがくシリーズ 町たんけん」を選定している。</p> <p>対応する内容項目のうち、小学校第1・2学年(12)は「働くことのよさを知り、みんなのために働くこと」である。</p> <p>選定理由として、町にある店や民家、公共施設等、町の生活の細部まで書かれたイラストには、人物のセリフが吹き出しで示されており、町に住む人、働く人の生き生きとした様子が描かれていることから、病棟で生活している生徒が、より具体的に町の営みを知り、その文化や生活に親しみ、愛着をもつことができる、としている。</p> <p>以上、一般図書の選定状況及び選定理由である。現在、各校の採択申請書及び選定理由書の点検を行っている。</p>
会長職務代理	<p>それでは、ただ今の説明について、10分ほどグループで意見交換を行っていただきたい。</p>
	<p><意見交換(10分)></p>
会長職務代理	<p>グループで出た御意見、御質問を順番に紹介していただきたい。</p>

委 員	子供達の実態に応じて選定していただいている。質問はない。
委 員	個々の児童生徒の、全ての教科においてどの教科書がよいか選ばれており、担当された方々の御苦勞が資料の中に詰め込まれている。
委 員	資料6，9ページと15ページに「一般図書一覧」掲載以外の図書とあるが、「一般図書一覧」掲載以外の図書はどういった経緯で選ばれているか。
委 員	特別支援学校の校内選定会議について、各校の構成人数の平均が資料に示されていたが、構成メンバーはどうなっているか。
会長職務代理	質問について、事務局から回答をお願いします。
事務局	「一般図書一覧」掲載以外の図書を選定している例としては、学校が、独自で探した図書や、過去に「一般図書一覧」に掲載されていたが今は掲載されていない図書を選定している等がある。
事務局	特別支援学校の校内選定会議は、管理職に加え、教務主任、教務部や教科書担当者、学年部の代表などが主な構成メンバーである。P T A会長等がオブザーバーとして選定会議のメンバーとなっている学校もある。
会長職務代理	その他、御意見・御質問はないか。
委 員	(なし。)
会長職務代理	それでは、事務局から説明があった、各校の選定状況について、適切に処理されていると御了解いただいたものとする。 以上で議事を終了する。これより、進行を事務局にお返しする。